

# ファラ・グリフォン

[[部分編集](#)]

## 新世紀の鼓動

CHARACTER(UNIT)

CH-Z5 黒 1-4-0 U

(配備フェイズ)：《(1)》キャラクター1枚を破壊する。その場合、このカードが属するセットグループを、ターン終了時に廃棄する。

F Ad [1][2][1]

---

キャラクター1枚の破壊と引き換えに自らも廃棄されるキャラクター。破壊から廃棄までにタイムラグがあるので、セット先のユニットがそのターン中に[出撃](#)するなどは可能であるし、例えば防御ステップに[撤退命令](#)で[バウンス](#)するなどといった手段も有効。

---

[[部分編集](#)]

## 月下の戦塵 / [エクステンションブースター2](#)

CHARACTER(UNIT)

CH-Z17 黒 1-5-0 R

[プリベント](#)(3)

(自動A)：このカードがセットされているユニットは、ユニット1枚のみの部隊にいる場合、「[強襲](#)」を得る。

(自動D)：《[1・5]》このカードが攻撃に出撃した場合、全てのプレイヤーは、自軍手札、または自軍カード1枚を選んで廃棄する。

F Ad NT [2][2][1]

---

能力の対象が全てのプレイヤーである為不利な状況を打開する役には立たず、有利な状況がある程度固定化するのに向いている。

[武力による統制](#)や、不要になった[御しえぬ野心](#)の処理に役立つだろう。

[特殊兵装](#)を利用する事で、[兵装](#)を廃棄 直後に[特殊兵装](#)で兵装を釣る、という動きでカード[アドバンテージ](#)を得られるが、逆に相手が[特殊兵装](#)を利用するデッキである場合に同様の動きで回避されてしまう点には注意。

なお起動コストがあるため、Gを廃棄し続けるのには限界がある点には注意。あまり強すぎる[ロック](#)は掛からない様にデザインされたと考えられる。ただしこの要素は、自分がカードを廃棄したくない状況において能力を起動しない様にできるという選択肢も生んでいる。

---

[[部分編集](#)]

## 禁忌の胎動

CHARACTER(UNIT)

CH-Z50 黒 2-2-1 R

(自軍帰還ステップ)：《R》戦闘エリアにいるキャラクター1枚をゲームから取り除く。その場合、ターン終了時に、このカードがセットされているユニットを本来の持ち主の本国の上に移す。

F Ad [0][2][1]

---

細部は色々異なるが、ファラ・グリフォン《[6th](#)》のリメイクだと言える。一番の違いはコストの軽さ。例えば[黒ウィニー](#)でも十分利用可能で、「[武神降臨](#)」環境現在、黒の2国以下のキャラクターで射撃力修正2点を持つ唯一のカードである。

---

[[部分編集](#)]

## エクステンションブースター

CHARACTER(UNIT)

CH-Z58 黒 2-4-0 R

プリベント(5) 強襲

(自動B)：このカードがプレイされて場に出た場合、敵軍ユニット1枚の上に鈴音コイン1個を乗せる事ができる。

(攻撃ステップ)：《(1)》このカードが戦闘エリアにいる場合、鈴音コインが上にある敵軍ユニット1枚を、任意の戦闘エリアに移す。この効果では、そのユニットが地形適性を持たないエリアに移す事ができない。

F Ad NT [2][2][1]

---

鈴音コインが乗っている敵軍ユニットを戦闘エリアに引きずり出す能力を持つキャラクター。無理矢理交戦させてもよし、逆に反対側の戦闘エリアに移して攻撃を通すもよし。

- ゲンガオゾ 《EB1》とは「鈴音コイン」を共有しており、これによるシナジーも形成する。

---

[[部分編集](#)]

## 雷鳴の使徒

CHARACTER(UNIT)

CH-Z75 黒 3-4-1 R

(自動B)：このカードがプレイされて場に出た場合、自軍本国のカードを全て見て、その中にあるキャラクター1枚を、このカードにセットできる。その後、自軍本国をシャッフルする。

(自動D)：このカードにセットされているキャラクターは、「【セット/キャラ】」を得る。

ザンスカール 女性 大人

[2][2][1]

---

本国からのキャラクターサーチ能力を持つファラ。今回はNTを持っていない。

このカード自身の戦闘修正は(4国キャラクターとしては)平凡だが、サーチされたキャラクターが直接このカードにセットされるため、かなりの戦闘修正が期待できる。

国力ブースト目的でシャル・アクスティカ 《21st》を持ってこられるだけでも[3][3][3]、パプテマス・シロッコ辺りを持ってくれば[4][4][3]まで戦闘修正は膨れ上がる。

本国全体からサーチするため、ほぼ確実にキャラクターをサーチできる点も嬉しい。

また、サーチするキャラクターのコストを無視できるのも大きな特徴。

東方不敗や刹那・F・セイエイ 《22nd》など、色を問わず強力なキャラクターを場に出すことが可能。

その他にも、女性であることを活かしてディアゴ・ローウェルをサーチしたり、サーチしたキャラクターがこのカードにセットされることを活かしてマリオン・ウェルチ 《17th/EB3》をサーチしたりと、用途は多彩。

- 意図的なデザインなのか、原作で部下だったメツチェ・ルーベンスとは相性が良い。

- サーチしたキャラクターのセット先はユニットではなく、あくまでこのカードであるということに注意。例えば「このカードがセットされているユニットは～」といった効果は完全に腐ってしまう。具体的には[エリック・ブランケ](#)や[ウェス・マーフィー](#)など。
    - 反面、[ルペ・シノ](#)《17th》や[アルベオ・ピピニーデン](#)《17th》等の、ユニットにセットされている場合に発生するデメリットは無効化できる。[強襲](#)や[速攻](#)等の特殊効果も活かせる為、相性は良い。
-